

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	2020年1月10日
【四半期会計期間】	第36期第1四半期（自 2019年9月1日 至 2019年11月30日）
【会社名】	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
【英訳名】	ADTEC PLASMA TECHNOLOGY CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 森下 秀法
【本店の所在の場所】	広島県福山市引野町五丁目6番10号
【電話番号】	(084) 945 - 1359
【事務連絡者氏名】	取締役総務・経理部長 坂谷 和宏
【最寄りの連絡場所】	広島県福山市引野町五丁目6番10号
【電話番号】	(084) 945 - 1359
【事務連絡者氏名】	取締役総務・経理部長 坂谷 和宏
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第1四半期連結 累計期間	第36期 第1四半期連結 累計期間	第35期
会計期間	自2018年9月1日 至2018年11月30日	自2019年9月1日 至2019年11月30日	自2018年9月1日 至2019年8月31日
売上高 (千円)	1,858,347	1,595,867	6,055,700
経常利益 (千円)	367,035	286,557	515,071
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	274,192	201,860	352,053
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	295,969	194,046	305,886
純資産額 (千円)	5,469,011	5,604,302	5,444,591
総資産額 (千円)	9,921,892	10,161,876	9,772,770
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	31.94	23.52	41.01
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	55.1	55.1	55.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### 経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の減速による輸出や設備投資が伸び悩むなか、個人消費も軟調に推移し、世界経済におきましては、米中貿易摩擦や地政学的リスクへの懸念などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、2018年からのメモリー需要の調整による半導体メーカーの設備投資が延期等されてきた中、一部大手半導体メーカーにおいて設備投資再開へ向けた動きが出てくる等、半導体市場に底入れの兆しが見られました。

また、ベトナム子会社で進めておりました新工場の建設につきましては、作業区へ設備を搬入し、生産開始へ向けた準備に着手いたしました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、前連結会計年度において継続しておりましたシリコンウエハ引揚装置向け電源の出荷が一服する中、一般市場向け製品の開発を進めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,595,867千円（前年同期比14.1%減少）、営業利益227,138千円（前年同期比38.7%減少）、経常利益286,557千円（前年同期比21.9%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益201,860千円（前年同期比26.4%減少）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、売上高1,457,308千円（前年同期比11.3%減少）、営業利益253,246千円（前年同期比35.8%減少）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、売上高138,559千円（前年同期比35.5%減少）、営業損失26,037千円（前年同期は営業損失23,717千円）となりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
売上高	1,858,347	1,595,867
売上総利益	783,184	693,137
営業利益	370,679	227,138
経常利益	367,035	286,557
親会社株主に帰属する四半期純利益	274,192	201,860

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
半導体・液晶関連事業（当社等）	1,643,379	394,721	1,457,308	253,246
研究機関・大学関連事業（IDX）	214,967	23,717	138,559	26,037
合計	1,858,347	371,004	1,595,867	227,209

(注) 1. 売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。

2. 営業利益は、各セグメントの営業利益又は営業損失（ ）を表しております。

財政状態

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は10,161,876千円であり、前連結会計年度末と比較して389,106千円増加しております。

これは、現金及び預金の減少(272,663千円)、受取手形及び売掛金の増加(359,105千円)、仕掛品の増加(213,402千円)、原材料及び貯蔵品の増加(126,125千円)等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は4,557,574千円であり、前連結会計年度末と比較して229,396千円増加しております。

これは、買掛金の増加(162,099千円)、未払法人税等の増加(71,806千円)、長期借入金の減少(59,392千円)等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は5,604,302千円であり、前連結会計年度末と比較して159,710千円増加しております。

これは、利益剰余金の増加(167,525千円)等によるものであります。

(注)文中表記について

(当社等)

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、Phuc Son Technology Co., Ltd.、Hana Technology Co., Ltd.、愛笛科技有限公司及び蘇州啄電子有限公司を表しております。

(IDX)

株式会社IDXを表しております。

(2) 経営方針・経営戦略等及び経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等につきましては、売上高経常利益率及び1株当たり当期純利益を指標等として選定しており、2020年1月10日付で2020年8月期の目標値は以下のとおり変更しております。

	売上高(百万円)	経常利益(百万円)	親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1株当たり当期純利益(円)
変更前	7,000	710	490	57.08
変更後	7,400	1,100	770	89.70

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、131,892千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年11月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年1月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,586,000	8,586,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	8,586,000	8,586,000		

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年9月1日～ 2019年11月30日		8,586,000		835,598		908,160

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

なお、2019年12月19日付で公衆縦覧に供されている大量保有報告書において、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が2019年12月13日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社としては当四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができません。

当該大量保有報告書の内容は、以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数(株)	株券等保有割合(%)
三井住友DSアセットマネジメント株式会社	東京都港区愛宕二丁目5番1号 愛宕 グリーンヒルズMORIタワー28階	505,000	5.88

## (6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2019年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,581,400	85,814	-
単元未満株式	普通株式 2,600	-	-
発行済株式総数	8,586,000	-	-
総株主の議決権	-	85,814	-

(注)「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式が40株含まれております。

## 【自己株式等】

2019年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アドテックプラズマテクノロジー	広島県福山市引野町五丁目6番10号	2,000	-	2,000	0.02
計	-	2,000	-	2,000	0.02

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年9月1日から2019年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年9月1日から2019年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,809,781	2,537,118
受取手形及び売掛金	1,378,055	1,737,160
製品	457,664	421,048
仕掛品	651,172	864,574
原材料及び貯蔵品	2,342,022	2,468,147
前払費用	53,919	47,704
未収入金	566,131	498,671
その他	12,304	36,136
流動資産合計	8,271,052	8,610,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,126,856	1,127,486
減価償却累計額	662,658	674,746
建物及び構築物(純額)	464,197	452,739
車両運搬具	44,486	44,539
減価償却累計額	35,210	36,212
車両運搬具(純額)	9,275	8,326
工具、器具及び備品	1,056,704	1,067,426
減価償却累計額	825,025	833,702
工具、器具及び備品(純額)	231,679	233,724
土地	236,519	236,519
使用権資産	-	158,919
減価償却累計額	-	5,741
使用権資産(純額)	-	153,178
建設仮勘定	247,300	314,811
有形固定資産合計	1,188,972	1,399,299
無形固定資産	58,713	56,677
投資その他の資産		
投資有価証券	16,258	20,403
繰延税金資産	36,615	22,769
その他	215,507	66,513
貸倒引当金	14,350	14,350
投資その他の資産合計	254,031	95,337
固定資産合計	1,501,717	1,551,314
資産合計	9,772,770	10,161,876



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	155,948	318,047
短期借入金	2,250,000	2,250,000
1年内返済予定の長期借入金	260,122	255,124
未払金	155,655	204,051
未払費用	61,653	68,486
未払法人税等	12,740	84,546
役員賞与引当金	-	3,000
その他	40,521	36,670
流動負債合計	2,936,641	3,219,926
固定負債		
長期借入金	1,296,528	1,237,136
繰延税金負債	4,520	6,547
退職給付に係る負債	15,611	19,336
資産除去債務	72,705	73,004
その他	2,171	1,624
固定負債合計	1,391,537	1,337,648
負債合計	4,328,178	4,557,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	908,160
利益剰余金	3,761,758	3,929,283
自己株式	447	447
株主資本合計	5,505,070	5,672,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,703	1,107
為替換算調整勘定	70,605	73,405
その他の包括利益累計額合計	75,309	74,512
非支配株主持分	14,830	6,220
純資産合計	5,444,591	5,604,302
負債純資産合計	9,772,770	10,161,876

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
売上高	1,858,347	1,595,867
売上原価	1,075,162	902,730
売上総利益	783,184	693,137
販売費及び一般管理費	412,504	465,998
営業利益	370,679	227,138
営業外収益		
受取利息	277	258
受取配当金	25	-
為替差益	-	60,054
受取手数料	71	-
受取家賃	3,509	3,361
その他	1,912	2,406
営業外収益合計	5,796	66,081
営業外費用		
支払利息	6,490	6,608
為替差損	1,219	-
その他	1,731	54
営業外費用合計	9,441	6,662
経常利益	367,035	286,557
税金等調整前四半期純利益	367,035	286,557
法人税、住民税及び事業税	82,170	77,893
法人税等調整額	20,126	15,414
法人税等合計	102,297	93,307
四半期純利益	264,738	193,249
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	9,453	8,610
親会社株主に帰属する四半期純利益	274,192	201,860

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	264,738	193,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,045	3,596
為替換算調整勘定	33,277	2,799
その他の包括利益合計	31,231	796
四半期包括利益	295,969	194,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305,423	202,657
非支配株主に係る四半期包括利益	9,453	8,610

## 【注記事項】

## (会計方針の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号(リース)を適用しております。IFRS第16号の適用に当たっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これに伴い、投資その他の資産の「その他」に含めていた一部の資産について「使用権資産」への振替を行っております。

その結果、当該会計基準の適用に伴い、当第1四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「使用権資産」が153,178千円増加し、投資その他の資産の「その他」が153,178千円減少しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
減価償却費	34,024千円	32,287千円

## (株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

## 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月27日 定時株主総会	普通株式	42,919	5	2018年8月31日	2018年11月28日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

## 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月27日 定時株主総会	普通株式	34,335	4	2019年8月31日	2019年11月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年9月1日 至2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	1,643,379	214,967	1,858,347	-	1,858,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,720	6,950	8,670	8,670	-
計	1,645,100	221,917	1,867,018	8,670	1,858,347
セグメント利益又は損 失( )	394,721	23,717	371,004	324	370,679

(注) 1. セグメント利益又は損失( )の調整額 324千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2019年9月1日 至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	1,457,308	138,559	1,595,867	-	1,595,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,733	2,707	4,440	4,440	-
計	1,459,042	141,266	1,600,308	4,440	1,595,867
セグメント利益又は損 失( )	253,246	26,037	227,209	70	227,138

(注) 1. セグメント利益又は損失( )の調整額 70千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
1株当たり四半期純利益	31円94銭	23円52銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	274,192	201,860
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	274,192	201,860
普通株式の期中平均株式数(株)	8,583,960	8,583,960

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年1月10日

株式会社アドテック プラズマ テクノロジー

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中原 晃生 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 平岡 康治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アドテック プラズマ テクノロジーの2019年9月1日から2020年8月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年9月1日から2019年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年9月1日から2019年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アドテック プラズマ テクノロジー及び連結子会社の2019年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。